

第 25 期・第 10 回 土木工学・建築学委員会 感染症拡大に学ぶ建築・地域・都市のあり方
分科会 議事要旨

開催日時 2022 年 12月8日（木） 15:00-17:30

開催場所 遠隔会議

出席者 伊藤香織, 伊香賀俊治, 小野悠, 大岡龍三, 定行まり子, 齋尾直子, 竹内徹, 竹脇
出, 緑川光正, 南一誠, 三輪律江, 望月常好, 山本佳世子, 渡邊朗子

欠席者 佐々木葉, 前川宏一, 赤松佳珠子, 齊藤大樹, 高橋良和, 田村和夫, 増田聡

配付資料

- 資料 0 議事次第
- 資料 1 見解素案
- 資料 2 見解案メモ
- 資料 3 公開シンポジウムフライヤー
- 資料 4 SWG-1 ポスト・コロナの働き方・住まい方について
- 資料 5 定行委員公開シンポジウム関連資料
- 資料 6 齋尾委員公開シンポジウム関連資料
- 資料 7 伊藤委員公開シンポジウム関連資料
- 資料 8 三輪委員公開シンポジウム関連資料
- 資料 9 山本委員公開シンポジウム関連資料

議題等

1. 各 SWG の活動報告

- ・ SWG1 (総括・国際) : 竹内委員長から, 資料 4 に基づき, ポストコロナのアンケート結果報告があった. 併せて, アンケート結果の一部を 1 月 22 日の公開シンポジウムでも発表することが確認された.

2. 意思の表出について

竹内委員長から, 資料 1 に基づき, 分科会としての意思表出の内容素案について確認があり, 資料 2 が参考として示された. 併せて, 公開シンポジウムを分科会の意思表出の場とする方向性が示された.

3. 公開シンポジウムの内容について

- ・ 小野委員から, 資料 3 に基づき, 1 月 22 日開催の公開シンポジウム「機能分化社会から機能混在社会へ」の概要について確認された.
- ・ 定行委員から, 資料 5 に基づき「暮らし方からみるコロナ禍の変化と今後」に関する

説明があった。説明を受けて、少子高齢化、グローバル化、情報化等との関係についての質疑応答がなされた。

- ・ 斎尾委員から、資料 6 に基づき「学び方からみるコロナ禍の変化と今後」に関する説明があった。説明を受けて、通信制教育の可能性や図書館の重要性等に関する質疑応答がなされた。0/100 ではなく対象に応じたベストミックスがあるのではないかとの意見も出された。
- ・ 伊藤委員から、資料 7 に基づき「過ごし方、楽しみ方からみるコロナ禍の変化と今後」に関する説明があった。説明を受けて、アンケートでも飲食店の屋外空間利用が多く挙がっていたという意見や、「デジタル化の急速な進展やニューノーマルに対応した都市政策のあり方検討会」に関する質疑等があった。
- ・ 山本委員から、資料 9 に基づき「公共的な情報からみるコロナ禍の変化と今後」に関する説明があった。説明を受けて、アンケートでは個人情報のセキュリティに対する不安が見られたという意見や、国内外での公共的情報に関する違いに関する質疑等があった。
- ・ 渡邊委員から、「働き方からみるコロナ禍の変化と今後」に関して、テレワーク、ワーケーション、シェアオフィスなど多様な働き方が後押しされていることや、時間と空間の関係が変わってきている旨の説明があった。説明を受けて、住宅-仕事場に限りないテレワークや地方都市や郊外との関係に関する議論がなされた。
- ・ 三輪委員から、資料 8 に基づき「生活者のケア情報からみるコロナ禍の変化と今後」に関する説明があった。説明を受けて、情報管理や情報管理の縦割りに関する議論がなされた。
- ・ 公開シンポジウムに向けた準備や当日の進め方について確認がなされた。

以上